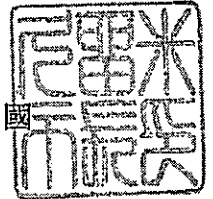


20都計第186号
平成20年10月14日

国土交通省道路局長 殿

久留米市長 江藤 守國



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

貴職におかれましては、日頃より当市の道路事業にご理解とご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

さて、平成20年9月19日付け国道企第37号にて依頼のありました「今後の道路行政についての意見・提案の提出について」別紙のとおり回答いたしますのでご査収願います。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など（１／２）

(１) 一般財源化後も地方道路整備臨時交付金制度や地方道路整備臨時貸付金制度と同等の制度と財源の確保及び道路予算の使途に対する地方の更なる自由度の拡大、より一層の弾力的・重点的運用

- ・道路特定財源が一般財源化されるが、地方の道路整備はまだ不十分であり、今まで地方の道路整備に充当していた整備費相当は今後も継続していただくようお願いする。
- ・また、使途にあたっては地方の道路整備に支障が生じないよう地方の意見を十分に踏まえ、地方の更なる自由度の拡大とより一層の弾力的、重点的運用が可能となるよう配慮をお願いする。

(２) 地方部に「真に必要な道路」への重点投資

- ・地方は、生活様式が自動車に依存する傾向が高く、道路整備がまだまだ不十分と感じている人が多いと思われる。
- ・都会で「もう道路整備は必要ない」という声には、地方の人は疑問視していると思われる。
- ・ということは、今からは地方部の道路を重点整備する時期に来ていると言えるのではないか。
- ・特に、県境を超えた連携や広域合併に寄与する広域幹線道路の早期整備を一番望んでいる。
- ・当市では、自動車産業の進出による地域の活力強化及び雇用増進が今後見込まれている。そのための製品等輸送路や従業員及び関係者の通勤路などの道路が不十分で道路整備は急務と思っている。
- ・新たな観光拠点となるべく自然環境のいい耳納連山の麓のフルーツ街道（山苞の道）を「歩きたくみち」をイメージし歩道整備を行なっている。「歩きたく道１００選」にも選定されおり、歩くことによる健康増進策にも寄与すると考えている。このような事業が継続整備できるよう配慮をお願いする。

(３) そこに住む人の立場にたった学童や高齢者に安心安全な生活道路の整備推進

- ・当市の市民アンケートでは「生活道路の整備」が毎年上位に上がっており、地区の会合等でも児童や高齢者が安全に通行できる歩道の整備などは幾度となく要望される状況である。
- ・よって、安心安全な生活道路の改善は人口減少、高齢化社会において不可欠であり緊急性の高いことだと思っている。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など（２／２）

（４）地球温暖化や景観に配慮した道路空間環境整備の推進

- ・地球温暖化対策や高齢者に優しいまちづくりには、道路緑化や緑陰の確保は環境、景観面で必要だと思っている。
- ・当市もメイン通りである国道２０９号明治通りのいちょうやブリヂストンけやき通りなど魅力的な通りはありますが、まだまだ、不足しているという実感である。
- ・久留米では、つつじが有名でありつつじを活かした街路樹の配置も今後積極的に展開しようと考えている。

（５）誰もが必要性を納得できる道路事業の評価（役割）設定

- ・事業の目的や効果についても事業評価等おこなっているが、評価項目や内容が国民に理解しがたい分析になっているように思える。
- ・事業評価に関しては、現在再検討しているようなので、是非国民、地方の人々も理解、賛同できる評価項目や内容になるよう努めていただきたい。

（６）国道の県移譲については、現在同等の管理レベル維持

このような施策がこれまで以上に実施できますよう道路財源（予算）の確保を繰り返しお願いする。

今後の道路行政についての意見・提案

②－１地域の現状と抱える課題

○現状	○課題
①市中心部の交通混雑 市中心部を南北に貫通する主要幹線道路国道３号が２車線しかなく、大型車や通過交通車両が輻輳している。 また、高速道路の久留米ICへのアクセスも市内中心部付近まで国道３号を主に通過することになり、交通混雑の要因となっている。 ②自動車産業等の生産基地へのアクセス路が不十分 新規工業団地（生産基地）から高速道路ICまでのアクセス道路が狭隘であり、円滑な製品輸送に懸念が残る。 また、歩道がないところも多く製品輸送に伴う交通量増加による歩行者の危険性が増している。 ③安心して安全な生活道路の改善 通学路などで歩道未整備箇所がまだ多く残っている。 また、今後の高齢化社会に向け高齢者も安心して活動できる歩行空間の確保が急務。 信号機の設置により安全性が確保できる交差点もあると思われるが財源の問題等で早急に設置できない箇所も見受けられる。 ④道路施設の維持管理 計画的な延命化修繕計画が未策定（策定中）	① ・福岡、熊本、鹿児島を結ぶ国道３号の渋滞は経済、流通等の停滞、支障となっている。 ・渋滞が、久留米市中心市街地への来訪を妨げ中心市街地の衰退に影響している。 ・生活細部道路に通過車両等が侵入し、学童や高齢者等の交通弱者の危険度が増している。 ② ・常に円滑な製品輸送の確保（輸送の定時性） ・事故災害等での代替路の確保 ③ ・学童や高齢者を交通事故から守る ・高齢者が安心して野外活動できる環境整備 ④ ・同時期に大規模な修繕対応箇所が発生する可能性がある（集中した場合、修繕費の捻出が課題） ・構造物の延命化対策

今後の道路行政についての意見・提案

②－２ 地域の目指すべき将来像（１／２）

【久留米市新総合計画】

- ・ 2001 (H13)～2025 (H37) 年度を基本構想として、現在2005 (H17)～2014 (H26) 年度の10年間を対象とした基本計画にて展開中。
- ・ 「水と緑の人間都市」を基本理念に3つの将来像を示し、道路などの基盤整備を位置付けている。
- ・ 都市づくりの目標における道路整備関連の目標値

施策の柱	指標名	整備目標	
		現状(H16)	目標(H26)
● 外で活動したくなるまちに	歩道及び自転車道の整備距離数	149.9km	185km
施策の柱	指標名	不満・やや不満と答えた人の割合	
		現状(H16)	目標(H26)
● 拠点都市の役割が果たせるまちに	公共道路網の整備	52.3%	30%以下
	広域幹線道路の整備	36.4%	30%以下

・ その他主要な道路整備関連施策

- 街路樹ネットワークづくり事業：市の基本理念である「水と緑」を都市空間でも実感できるよう緑のシンボルとなる街路樹の統一的な整備
- 交通渋滞緩和対策事業：交通渋滞が恒常化している幹線道路の交差点について改良を図る
- 幹線道路整備事業：円滑な交通移動環境の整備を図るため、合併旧町へのアクセス路等交通ネットワークの整備を図る
- バリアフリー歩行空間ネットワーク整備事業：歩行者や車椅子利用者などだれでも安心安全に通行できるよう快適なバリアフリー歩行空間整備をおこなう
- 自転車道の整備：自転車に似合うまちづくりを目指し、自転車に乗りやすい環境整備に取り組む

今後の道路行政についての意見・提案

②－２地域の目指すべき将来像（２／２）

■九州新幹線周辺整備：九州新幹線久留米駅周辺整備及びアクセス道路（側道等）の整備

■災害に強い道路の整備：災害時の代替路はもちろん筑後川の水害等災害拠点とのアクセス路として整備

【幹線道路整備の基本方針】

道路網の課題を解決し、県南地域の中核都市として拠点性の向上を図っていくためには、通過交通の市街地部からの排除、集中する交通の分散導入、及び市街地内の円滑な交通処理を行なうことが必要であり、そのために必要な道路網として「８放射３環状道路」を幹線道路網計画の基本としている。

●８放射道路：国道３号（北側）、国道３号（南側）、国道２０９号、国道２１０号、国道２６４号、国道３２２号

（主）久留米柳川線、（主）久留米基山筑紫野線

●３環状道路：内環状道路（東櫛原町本町線）、中環状道路（合川町津福本町線）、外環状道路（東合川野伏間線）

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）（1 / 2）

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
地域活力の向上	自動車関連工場とのアクセス路整備 ・ 県道甘木朝倉田主丸線改良、交差点改良 ・ 中津日田道路 ・ 三潆上陽線バイパス 市町村合併等による地域の自主性を活かした街づくり支援 ・ 国道210号浮羽バイパス ・ 久留米柳川線バイパス ・ 久留米筑紫野線バイパス ・ 山苞の道 ・ 新幹線久留米駅周辺及びアクセス路整備 ・ 筑後川堤防道路の整備	・ 高速道路ICへの連結強化 ・ 重要港湾中津港へのアクセス強化 ・ 優秀な人材の確保による進出企業の促進 (通勤時間の短縮による雇用範囲の拡大) 合併旧町 観光拠点 交通拠点への連携強化 筑後川中下流域の広域的な連携強化	

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）（2 / 2）

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
都市交通の快適性、 利便性の向上	国道 3 号鳥栖久留米道路 （都）東合川野伏間線 既存道路の渋滞交差点改良促進 新幹線久留米駅周辺及びアクセス路整備（再掲） 久留米柳川線バイパス（再掲）	市中心部の慢性的な交通混雑緩和 中心市街地の活性化 交通拠点の連携強化 有明海沿岸道路へのアクセス強化	
総合的な交通安全対策 及び危機管理の強化	生活道路の整備推進 ・ 児童や高齢者などの安全対策（歩道整備） ・ 事故の多い信号機のない交差点の信号機設置 ・ 自転車道の整備	・ 安全性の確保、高齢者の活動支援 ・ 交通事故の減少	・ 道路予算による信号機設置への使途拡大を要望
地球温暖化の防止	街路樹ネットワークの整備 ・ 幹線道路にまちのシンボルとなる街路樹の整備 自転車道の整備（再掲）	・ 地球温暖化防止 ・ 緑陰による高齢者などにやさしい魅力ある街並み形成	・ 植栽や維持管理費用に対する臨時交付金制度等の新設拡大を要望
災害に強い国土づくり等	筑後川堤防道路の整備（再掲）	災害時の代替路はもちろん筑後川の水害等防災拠点とのアクセス路として整備	